



# 平成28年度当初予算

**総額 314億595万2千円**  
**一般会計 179億7,000万円**

桜川市の基本となる平成28年度当初予算が、平成28年第1回桜川市議会定例会で、可決・成立しました。

市財政の中心となる一般会計予算額は179億7,000万円で、国民健康保険特別会計など6つの特別会計と水道事業会計を含めた予算総額では、314億595万2千円となり、前年度当初予算の合算額と対比して約5.8%の増となります。

今月号では、主に一般会計予算の概要を歳入・歳出別にお知らせします。

## 歳入

市に入ってくるお金

一般会計の歳入のうち最も多いのが、一定の基準により国から配分される地方交付税で、全体の約31.6%を占めています。

続いて多いのが市民税・固定資産税・軽自動車税などの市税。次の市債は、事業を実施するための国などからの借入金。そして、国庫支出金は、国からの補助金。以下、県支出金、地方消費税交付金などの順になっています。

※（ ）内は、構成比率

## 一般会計の歳入

(市に入ってくるお金)

- ①地方交付税 56億8,000万円 (31.6%)  
所得税・消費税などの国税の一部を国から交付される収入
- ②市税 44億3,646万2千円 (24.7%)  
市民税、固定資産税、軽自動車税など
- ③市債 26億5,900万円 (14.8%)  
事業を実施するために長期的に国などから借り入れる収入
- ④国庫支出金 19億4,896万5千円 (10.8%)  
学校や道路などの建設、扶助費などに対して国から補助される収入
- ⑤県支出金 11億6,567万6千円 (6.5%)  
学校や道路などの建設、扶助費などに対して県から補助される収入
- ⑥地方消費税交付金 6億2,956万3千円 (3.5%)  
県に納付された消費税の一部を県から交付される収入
- ⑦諸収入 4億1,493万6千円 (2.3%)  
学校給食費や高額療養費返納金などの収入
- ⑧地方譲与税 2億5,220万2千円 (1.4%)  
市道に対して揮発油税・自動車重量税の一部を譲与される収入
- ⑨繰越金 2億2,000万円 (1.2%)
- ⑩その他 5億6,319万6千円 (3.2%)

## 市民1人(1世帯)当たりはこんな金額

市の予算を市民の皆様が身近に感じていただくため、平成28年度一般会計予算の歳入(市税)と歳出を、市民1人(1世帯)当たりで表してみました。金額は、4月1日現在の人口と世帯で割ったものです。

- 市民の皆様が負担する税を1人(1世帯)当たり換算すると **10万733円(29万231円)**
- 市政に使われるお金を1人(1世帯)当たり換算すると **40万8,020円(117万5,586円)**

## 歳出

市民の皆様のために使われるお金

一般会計の歳出では、民生費が最も多く、高齢者や障がい者・児童などの福祉の充実が図られます。続いて多いのが総務費で、大和駅北地区開発整備事業や、市立病院整備などに使われます。次に多いのが、市立学校や生涯学習振興などの教育費。以下、健康促進、環境保全、ごみ処理などに充てられる衛生費、公債費、土木費、農林水産業費、消防費などの順になっています。

※（ ）内は、構成比率

## 一般会計の歳出

(市民の皆様のために使われるお金)

- ①民生費 56億5,060万2千円 (31.4%)  
社会福祉サービス、生活保護など
- ②総務費 29億9,375万2千円 (16.7%)  
戸籍や庁舎管理など
- ③教育費 25億6,523万9千円 (14.3%)  
市立学校、生涯学習振興など
- ④衛生費 16億4,315万8千円 (9.1%)  
健康促進、環境保全、ごみ処理など
- ⑤公債費 14億4,860万4千円 (8.1%)  
市の借入金の返済など
- ⑥土木費 14億1,332万6千円 (7.9%)  
道路や公園の建設や修繕など
- ⑦農林水産業費 10億8,182万4千円 (6.0%)  
農林水産業の振興、基盤整備など
- ⑧消防費 7億9,589万6千円 (4.4%)  
防災対策、消防、救急救命活動など
- ⑨その他 3億7,759万9千円 (2.1%)



## 平成28年度一般会計主要事業の予算

### ハード事業

- (建物の建設・修繕、道路整備など工事をすすめる事業)
- 総務費 ▶ 大和駅北地区開発整備事業…8億7,572万円、市立病院整備事業…3億1,817万3千円
  - 教育費 ▶ 桃山小中一貫教育校建設事業…10億8,688万5千円、桃山中学校空調設備設置工事5,853万6千円
  - 土木費 ▶ 道路新設改良事業…2億857万5千円、道路維持事業…8,059万4千円

### ソフト事業

- (ハード事業以外の事業)
- 民生費 ▶ 障害者福祉事業…7億7,124万円、児童手当事業…6億4,420万5千円、老人医療給付事業…6億2,445万2千円、国民健康保険事業…6億2,072万6千円、介護保険事業…5億7,983万5千円、生活保護支給事業…5億2,693万7千円、子どものための教育・保育給付事業…3億8,302万1千円、医療福祉事業…3億1,728万2千円
  - 総務費 ▶ 公共交通事業…3,777万8千円、財産管理事業…8,423万9千円
  - 教育費 ▶ 学校給食センター事業…2億5,624万8千円、小学校管理事業…1億5,966万9千円、中学校管理事業…1億2,552万7千円
  - 衛生費 ▶ 清掃総務事業…6億5,111万5千円、保健衛生総務事業…5億3,939万9千円、予防総務事業…8,646万9千円

## 平成28年度当初予算一覧

区分	平成28年度予算	前年度の当初予算との増減率(%)
一般会計	179億7,000万円	12.5%
特別会計	国民健康保険	68億8,883万7千円 △0.9%
	農業集落排水事業	4億2,198万2千円 1.5%
	公共下水道事業	6億1,374万5千円 △15.1%
	介護保険	38億5,095万9千円 △2.6%
	介護サービス事業	1,414万2千円 40.2%
後期高齢者医療	3億5,833万1千円 △1.2%	
水道事業会計	12億8,795万6千円 1.9%	
合計	314億595万2千円	5.8%